

## 川で学ぼう

～川とふれあう学習～

# 「環境学習を通じて 地域と川の大切さを学ぶ」

### 溝口小学校

**溝**口小学校では「環境のために自分たちで出来ることは何か」という視点からの「環境教育」を、学習の中に積極的に取り入れているそうです。例えば「家庭排水で、汚い水を川や海に流さないようにするにはどうすればよいか」等の課題について、様々な資料を見ながら考えたり、伯耆町内にあるリサイクルプラザやごみ焼却場の見学などを通じて学んでいます。

その一環として、国土交通省日野川河川事務所が毎年7月の夏休み期間中に実施している水生物調査に溝口小学校も参加し、「日野川には現在、どんな生物がすんでいて、どんな様子でくらししているのか」を学んでいるそうです。



清掃作業の様子



### 伯耆町立 溝口小学校

明治6年に開校した谷川小学校(第56番小学校)を前身として、同10年に開校した歴史のある小学校です。児童数は平成16年5月現在で168名です。校訓に「元気に明るく」を、めざす児童像に「考える子ども」「助け合う子ども」「たかましい子ども」をそれぞれ掲げて教育が行われています。

— のほかにも、少年野球チームに参加している児童とその保護者を中心とした有志が、溝口警察署からの呼びかけで、日野川にかかる「鬼守橋(きもりばし)の周辺での清掃活動に参加しているなど、学校だけでなく地域を上げて、環境のための活動に積極的です。その様子は、地元ケーブルテレビでも放送され、家族そろって日野川の中でごみを拾う姿が町民に対して紹介されています。

溝口小学校では、「日野川は、私たちの暮らしに身近な地域の川。環境に関する学習と川をきれいにする活動とを通じて、子どもたちに川と自然の大切さを感じてもらえと思う」と、その趣旨を説明しています。